

地域向け新リハビリサービスの動向

～地域包括ケア時代に対応したリハビリ・運動支援ビジネスモデルの新たな“かたち”～

2017年4月より「**介護予防・日常生活支援総合事業**」が各自治体で本格的にスタートします。その中でも介護予防、介護度改善等につながるリハビリテーション、生活行為向上トレーニング等が非常に注目されています。

今後、通所型や訪問型のリハビリや介護予防トレーニングは、ICTやロボティクス等の技術によって大きくビジネスモデルが変化していくことも予測されます。さらに、**混合介護の概念が拡大**されようとしている中、もう一度、ヘルスケアビジネスのあり方を見直す時期に来ているのかも知れません。

今回の研究会では、**地域包括ケア時代に対応したリハビリや運動支援等のビジネスモデルを再考し、新たな“かたち”の方向性を探っていく**たいと思っております。

(15:00～16:00)

スカイプを活用した遠隔リモートトレーニングの実際

～いよいよ本格化する低コスト型遠隔リハビリテーション～

一般社団法人 アジアリモートトレーニング協会 代表理事 大西 裕

(16:00～17:00)

Kinect (キネクト) を活用したVR運動支援の実際

～VR技術がリハビリテーションにもたらす新たなビジネスチャンス～

株式会社ラッキーソフト 代表取締役 三田村 勉

(17:30～) 交流会

〒530-0011 大阪市北区大深町3番1号
グランフロント大阪ナレッジキャピタル タワーC 7階
TEL:06-6359-1322 FAX:06-6359-1329

【日時】2016年10月7日(金)

15:00～17:00 (交流会17:30～)

【会場】公益財団法人都市活力研究所 セミナー室

(グランフロント大阪 タワーC 7階)

【参加費】無料 (交流会1,000円)

定員:30名



■主催
公益財団法人都市活力研究所
■協力
よどぎり医療と介護のまちづくり株式会社

■お申込み・お問い合わせ
事務局 味村 (ミムラ)、倉澤 (アイザワ)
(公益財団法人都市活力研究所)
TEL:06-6359-1322
<http://www.urban-ii.or.jp>